

# 地域のリスクを知り、備える ちば地震防災ガイド

千葉県北部地域に  
お住まいのみなさん  
「震度6強」の地震への備えは  
できていますか？



千葉県マスコットキャラクター  
「チーバくん」

千葉県内ではどこでも「震度6強」の揺れが起こる可能性があります。

「立ってられないような激しい揺れ」が発生！ その時、何が起きる？

古い木造建物(昭和56年以前に建てられ、耐震補強がされていないもの)の多くが倒壊



丘陵や台地の急斜面などで、斜面が崩れ落ちる



建物や家具・家電が倒れて下敷きになり、そのまま火災に巻き込まれる



埋立地や河川周辺で液状化が発生する地域も

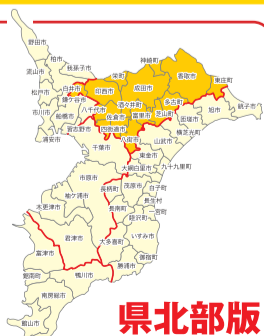
建物が密集している場所では火災による延焼が止まらない

外出先から家に帰れない！居場所がない！あなたも「帰宅困難者」に



多くの地域で停電・断水し、食事や風呂、トイレなどが不自由に

停電や通信規制の影響により、電話がつながりにくくなる



【本ガイドの主な対象エリア】

成田市、佐倉市、四街道市、八街市、印西市、白井市、富里市、香取市、酒々井町、栄町、神崎町、多古町、東庄町、芝山町



次のページから、お住まいの地域のリスクと対策を確認しましょう





# お住まいの地域のリスクを知ろう

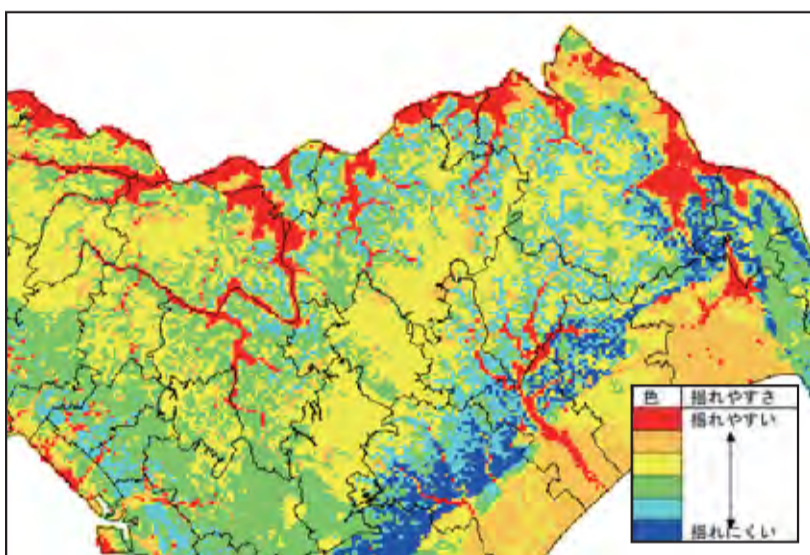
千葉県では、平成26・27年度に新たな地震被害想定調査を実施しました。ここでは、その調査結果やこれまでの県の取組みを基に、地震による地域のリスクを紹介しています。事前にリスクを知り、備えにつなげましょう。



県北部版

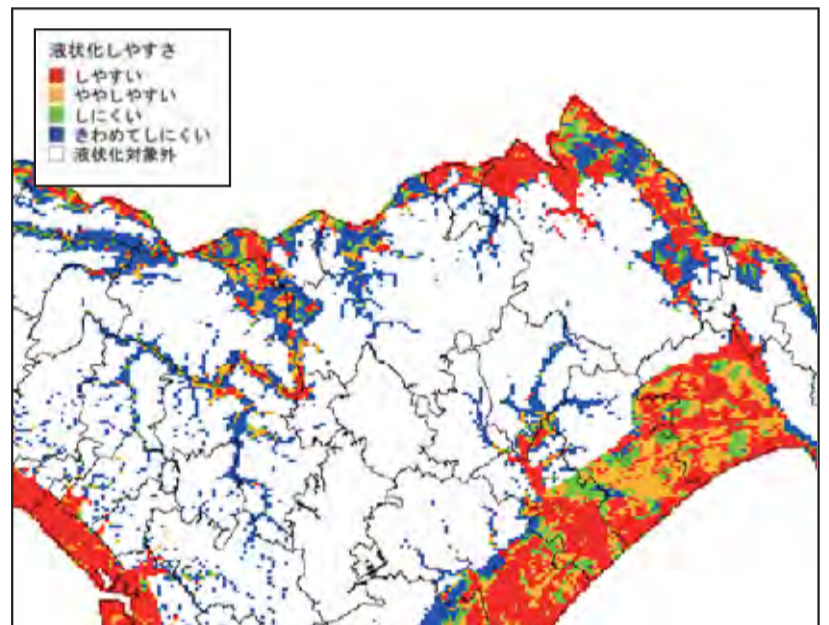
## 【揺れやすい?】

県北部地域では、利根川などの河川沿いの地域などで、揺れやすい地域が広がっています。また、台地の中でも、谷津を埋めた場所などは揺れやすくなっています。下の図は、地震が起きた際の地域の揺れやすさを評価したマップです。



## 【液状化しやすい?】

県北部地域では、利根川沿いの地域などで、液状化しやすい地域が広がっています。下の図は、震度6強の揺れがあった場合の液状化しやすさを評価したマップです(液状化対策は考慮していません)。



## 【がけ崩れ・地すべりに注意!】

住宅が急傾斜地(がけ地)の近くや、土地開発により谷や沢を埋めた造成地に建てられている地域・場所では、強い揺れによりがけ崩れ・地すべりなどの地盤災害が発生する危険性があります。

なお、同じ開発地域内でも災害の発生に差が出る場合があります。



## 【帰宅が困難に】

鉄道の利用者が多い県北部地域では、鉄道の運行停止により、多くの方が帰宅困難者となります。

駅周辺の施設や道路には人があふれ、徒歩による帰宅は集団転倒に巻き込まれるなどの危険性が伴います。

道路上は損壊した建物や看板などの落下物、火災などの影響により危険な状態となっている恐れがあります。

また、自動車での帰宅の場合、道路や橋に段差ができてきたり、通行が規制されていたりするなどして、大渋滞になることが予想されます。



「ちば地震被害想定ホームページ」を活用して、地域の特徴を詳しく調べてみよう



「ちば地震被害想定ホームページ」では、お住まいの地域の「揺れやすさ」や「液状化しやすさ」を地図上で詳しく確認できます。また、その土地がどのような土地であるのか(台地、盛土・切土、明治期の水田など)も確認できます。その他、液状化への備えや被害想定調査の詳細な内容など、様々な情報がありますので、ぜひご活用ください。



ちば 地震被害想定 検索



「揺れやすさ」マップ



「地形からみたリスク」マップ

〈URL〉 <http://keihatsu.bousai.pref.chiba.lg.jp/higaisoutei/index.html>